

第 39 回日本公認会計士協会研究大会開催について

日本公認会計士協会は、2018 年 9 月 14 日に第 39 回研究大会をアスティとくしま(徳島県徳島市)において開催いたします。

この研究大会は、公認会計士、外部有識者、実務家等の研究成果等を全国から参集した公認会計士の前で発表し、社会との交流を深め、知識の吸収や資質の向上そして社会的発言の場とすることを目的として、1979 年から開催しているもので、四国地方での開催は、2003 年の第 24 回研究大会(開催地:高松)に続いて、15 年ぶり 2 回目の開催となります。

39 回目となる今回は「伝統の上に築くイノベーション～人口減少社会を乗り越える新機軸～」をメインテーマとして、公認会計士がその持てる専門知識を活かし、地方創生、ダイバーシティの推進、AI 技術の活用などにより、公認会計士がどのように社会貢献ができるのかについて 10 テーマの研究発表を行い、1,000 名を超える方々が参加予定です。

また、研究発表に先立ち、開催地に関わりの深い外部講師を招いての記念講演会も開催しており、今回は大南 信也氏(特定非営利活動法人グリーンバレー 理事)から「神山プロジェクト～創造的過疎から考える地域の未来～」をテーマに講演いただき、続いて、大南氏も参加されてのパネルディスカッションを行います。

以 上